

# 令和元年度

## 第1回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 令和元年7月30日（火）14:00～15:10

場 所 中央区立環境情報センター研修室

### 【議事概要】

資料1 「中央区環境行動計画2018」の評価基準に対する基本的な考え方

資料2 「中央区環境行動計画2018」の評価基準(案)(新旧比較)

資料3 評価項目一覧

資料4 評価方法(パターン1とパターン2)

資料5 増減5%を基準とした評価例(抜すい)

資料6 増減5%の基準によらない評価例

資料7 重み設定のためのアンケート方法(案)

参考資料 アンケートによる重みづけの方法

#### ●区

(資料1から資料7の説明)

#### ●委員

本計画の評価基準については、昨年度からの継続審議となるので、まず初めに何点か確認する。

- 1 本計画・第3章に定める「個別指標」を活用した進捗評価を行う。
- 2 計画全体の進捗状況がわかりやすく見えるよう、点数化による評価を行う。
- 3 本来は、区民の意見を反映させた評価が必要と考える。ただし、集計等の事務的負担を考慮して、各委員の意見を反映させた評価を行うこととする。
- 4 平均値による評価は、毎年度行うが、重みを付けた評価は、計画改定などの然るべき時期に行う。

以上の点を踏まえ、本日の議論を進めていく。

質問・意見を願います。

#### ●委員

資料5(評価例)の「5%到達」は、どのような意図で載せたのか。

●区

平成29年度の実績で見た場合、具体的にどの程度の数値を出せば、5%に達するかを参考までに示したものである。

●委員

全ての項目を一律5%で評価する必要はあるのだろうか。

何か目標値があるのなら、年単位で割り返して活用すればよいと思う。

●委員

温対法<sup>※</sup>による二酸化炭素削減の計画はあるのか。

温対法<sup>※</sup>・・・地球温暖化対策の推進に関する法律

●区

個別には策定していないが、本計画の基本目標1（低炭素社会）に包含しており、目標値を定めている。

●委員

他に目標値はないのか。

●区

特に定めていない。

前計画では、目標値を定めた事業もあったが、達成率を分析するだけの評価で終わっていたため、本計画では、個別の目標に縛られないようにした経緯がある。

●委員

当初設定した目標が高すぎたため、努力してきたにもかかわらず、達成率が低くなってしまいうケースもあった。

●委員

資料6（河川水質等の調査結果）のように、5%増減によらない項目は他にもあると思う。

●委員

関連計画(廃棄物など)の目標を活用するなど、5%以外で評価できそうな項目を抜粋してみたい。

●区

次回までに整理する。

●委員

資料2(基準案)の「増減なし（現状維持）」が「概ね順調」と同じ3点なのは、少し違和感がある。

●委員

2.5点とするのも一つの方法であるが、そこまで細かく設定する必要はないと思う。

●委員

厳しく位置づけるとしたら、「やや不十分」2点と同一が妥当かもしれない。

●区

どこに位置づけるか検討する。

●委員

資料1(基本的な考え方)では、重み付けの評価がわずか2回となっているが、その理由は何か。

●区

事務的な負担の軽減もあり、大きな節目の時期に行うこととした。

●委員

事務的な負担は理由にならないと思う。

試験的に行ってみて、何か目に見える効果があれば、毎回行っていくべきである。

●委員

各委員が評価に関わるという点では、新たな試みと言えるが、パターン1(平均値による評価)とパターン2(重みによる評価)の内容に何も違いが見えなければ、重みを付けないこともあり得る。

●区

次回に2つのパターンを提示するので、ご審議いただきたい。

●委員

特になければ、アンケートによる重み付けの方法について、私から資料説明する。

(参考資料説明)

評価項目間ではなく、5つの基本目標間での重みを付けるなど、さまざまな方法があることを皆さんに知っていただきたいと思う。

●委員

この方法でもアンケートを行ってみれば、何か違った側面が見えるかもしれない。

●委員

事務局と別途調整する。

●委員

例えば、基本目標1(低炭素社会)の場合、アウトプット(どれだけ事業が進捗したか)とアウトカム(どれだけ成果(二酸化炭素の削減)が出たか)の項目に分けられ、評価の方法にもそれぞれ違いが出てくる。

特に、後者は、削減可能量を試算のうえ、目標値として設定することなども考えていかなければならない。

● 委員

個別の事業を着実に推進してきたかを5%で評価すると同時に、二酸化炭素の削減など大きい次元の項目は達成度で評価するイメージだと思う。

● 委員

前者は、事業の進捗度を評価する方法、後者は、事業の成果を評価する方法であり、それぞれ使い分ける必要があると思う。

● 委員

各委員からいろいろな言葉で意見が出てきたが、論点はほぼ共通しているので、きちんと整理しておいてほしい。

● 区

次回までに整理する。

● 委員

資料7(重みの設定)のアンケートは、次回の席上で行うのか。

● 区

事前に調査票を送付して実施する予定である。

以上